

シンポジウム1 ((2), (3)は予稿なし)

『映像のネット展開とテレビ放送の動向』

VODサービスの普及、ソーシャルメディアの台頭、スマートフォンやタブレットの普及拡大を背景に、放送やネットの利用スタイルは日々変化していると言えます。

本シンポジウムでは、テレビとネットの利用動向調査をベースとした解説を踏まえながら、最新の広告やVODサービスなどの現状と、Hybridcastの今後の展開について、各界のご担当者にお話しいただきます。

12月17日(水) 15:00~17:00 地下1階 第1会場(第1フォーラム)

【プログラム】(各講演30分程度)

司会：藤井亜里砂(NHK)

(1) 多極化するデジタル時代のテレビ視聴者

～視聴者はテレビとインターネットをどのように利用しているか～

木村義子(NHK文研)

(2) 日本テレビの動画配信戦略

太田正仁(日本テレビ インターネット事業局)

(3) ひかりTV 4K-VODサービスの展開と課題

木谷 靖(NTTふらら 技術本部)

(4) 最新ハイブリッドキャスト技術規格 ～進化するテレビを目指して～

藤沢 寛(IPTVフォーラム HTML5WG 主査)

特別企画

『2013年度各賞受賞企業によるデモ展示(公開)』 【参加無料】

2013年度に当学会が主宰する各賞を受賞された企業の方々のご協力を得て、デモ展示企画を行うこととしました。いま放送の現場で用いられている技術や、次世代の放送を予感できる技術、そして研究の最前線の技術について、それぞれデモを通してわかりやすく、親しみやすくご紹介いただきます。各企業でどんな研究開発が行われているかについて、企業の特徴も垣間見ることができ、大学関係者、学生の皆さんにも貴重な機会となっています。

12月18日(木) 11:30~13:00 2階 第4会場(第3会議室)

[出展デモ(予定)](6件)

- (1) AR技術を用いた電子フリップ・再撮モニタ装置の開発
安土寛之(NHK名古屋), 河村侑輝(NHK技研), 林 建一(コンセプト)
- (2) 自由視点映像表現によるスポーツ映像制作技術”フリービジョン”の開発
フリービジョン研究開発チーム(テレビ朝日, KDDI研究所)
- (3) 超高感度広ダイナミックレンジイメージセンサの開発
超高感度広ダイナミックレンジイメージセンサ開発グループ
(静岡大学, ブルックマンテクノロジー)
- (4) 手話CG評価サイト
手話CG評価サイト運営チーム(NHK放送技術研究所)
- (5) 進化的映像符号化に関する先駆的研究
高村誠之(NTT)
- (6) CATV網を活用したスーパーハイビジョンのスケラブル伝送技術
吉野知伸・河村 圭(KDDI研究所)

※ 冬季大会のその他の講演や企画への参加には、聴講参加の手続きと参加費が必要です。

シンポジウム 2 (予稿なし) ～ テレビ放送開始 60 周年記念 ～ 『日本のテレビ産業は大丈夫か?』

テレビ放送は開始後早 60 年が過ぎた。この間、テレビは電子情報機器産業や映像・コンテンツ産業の発展に中核的に貢献してきた。2020 年には東京オリンピックにあわせて 8K と呼ばれるスーパーハイビジョンの登場も予定されている。

一方で、スマートホンに代表されるネット系メディアの登場でメディアミックスの時代の到来により、テレビ産業は曲がり角にさしかかっているのではないかと危惧されるようになってきた。

この流れを受け、放送・通信業界、エレクトロニクス業界、学界を代表する専門家を一同に集めて、「日本のテレビ産業は大丈夫か?」をテーマに、シンポジウム・パネルディスカッションを行う。

12 月 18 日 (木) 13:00～17:00 1 階 第 2 会場 (第 2 フォーラム)

【プログラム】

13:00～13:05 主催者挨拶 平野 真 アントレ研究会委員長 (芝浦工大)

13:05～13:10 企画趣旨・講師紹介 倉重光宏 アントレ研究会顧問; 司会者

13:10～13:40 ≪第一部：招待講演≫

(1) メディアミックス時代の到来でビジネスモデルの見直し不可欠

倉重光宏 (元 NHK, パナソニック) 13:10～13:40

(2) 分かっていたはずの「地デジ特需」終了

西村吉雄 (技術ジャーナリスト, 元日経エレクトロニクス) 13:40～14:10

(3) 戦略論からみた日本のテレビ産業分析と今後の展望

長内 厚 (早稲田大学, 元ソニー) 14:10～14:40

休憩 14:40～14:50

(4) 液晶テレビにおける「すり合わせ」vs「モジュール化」

～日本のモノづくりはなぜ世界で勝てなくなったのか?～

中田行彦 (立命館アジア太平洋大学, 元シャープ) 14:50～15:20

(5) 日本再生への経営改革 ～日本人特有の「考え方と文化」で生き残れるか～

西嶋 修 (元パナソニック) 15:20～15:50

16:00～17:00 ≪第二部：パネル討論≫ 『日本のテレビ産業は大丈夫か?』

パネリスト：第一部講演者 5 名

17:00 閉会挨拶 林 泰仁 アントレ研究会担当幹事 (NTT アドバンステクノロジー)

【協賛】 研究・技術計画学会, 日本 MOT 学会

第1部門 無線・光伝送

12月17日(水) 9:30-12:00 地下1階 第1会場(第1フォーラム)

○は登壇者 *印はフレッシュパーソン

1件15分(発表10分, 質疑応答4分, PC切替および座長による紹介1分)

座長: 福本正義 (NEC)

- 1-1 1.2GHz/2.3GHz帯受信アンテナの開発 ~700/900MHz帯の周波数再編におけるフジテレビの開発~
○森本 聡・青木良太 (フジテレビ)
- 1-2 OFDM方式デジタルワイヤレスマイクにおける消失判定を用いたパルス干渉対策
○伊藤史人 (NHK), 九鬼孝夫 (NHK-ES), 濱住啓之 (NHK)
- 1-3 FPU/SNGを利用したファイル伝送実験
○栗山和久 (関西テレビ)
- 1-4 干渉・伝送誤りに対する最適なフレーム分割方法の提案
○平栗健史・小川知将 (日本工大), 鶴澤史貴 (NHK)
- 1-5 偏波間インターリーブを用いた偏波MIMO-OFDM伝送の移動受信特性に関する検討
○中村円香・朝倉慎悟・宮坂宏明・成清善一・岡野正寛 (NHK)

休憩 (10:45-11:00)

座長: 太田順一 (住友電工)

- 1-6 高性能電波時計の開発 ~JJY受信アルゴリズムの改良~
○恒川諒輔・日紫喜勇輔・上松侑平・都竹愛一郎 (名城大)
- 1-7 8K映像の光ファイバー伝送実験 ~光ファイバー波長多重(CWDM)による8Kスーパーハイビジョン伝送~
○小野浩一 (関西テレビ)
- 1-8 誤り訂正符号を付加した非圧縮フル解像度スーパーハイビジョン信号の長距離光伝送実験
○川本潤一郎・中戸川剛・倉掛卓也・小山田公之 (NHK)
- * 1-9 光受光器の自律メカニカル制御によるFM信号の受信品質改善
○中島広一郎・萩原弘二・木村洋介・遠藤慎之介・川崎博実・根岸正文・前田幹夫 (工学院大)

第2部門 メディア工学（符号化・画像処理）

12月17日（水）9:00-12:45 2階 第3会場（第1会議室）

○は登壇者 *印はフレッシュパーソン

1件15分（発表10分，質疑応答4分，PC切替および座長による紹介1分）

座長：塩寺太郎（東芝）

- * 2-1 マルチスケール eFREBAS 変換を利用した MR 画像の圧縮センシング
○伊東賢治・伊藤聡志・山田芳文（宇都宮大）
- 2-2 信頼度伝搬法を用いた動き補正フレーム間内挿に関する検討
○中村功樹（電通大），岩館祐一（NHK）
- * 2-3 画像のテクスチャとエッジ特性を用いたフレーム内超解像度
○山口良平・和田直哉・小池 淳・村上仁己（成蹊大）
- 2-4 画像複雑さ分析を用いるスマートフォン向け動画電子透かしの一検討
○山田隆亮（日立），紙谷元喜（日立ソリューションズ），中村晴幸・大田剛史（NHK）
- 2-5 参照フレーム間の動き検出に基づいたマルチフレーム時空間予測
○武市惇平・亀田裕介・松田一朗・伊東 晋（東京理科大）
- 2-6 ベイヤ型カラーフィルタを用いて撮影された Light Field Camera データの可逆符号化
○加藤 諒・亀田裕介・松田一朗・伊東 晋（東京理科大）
- 2-7 両方向インタラ予測における内挿関数の検討
○金森光彦・松田一朗・亀田裕介・伊東 晋（東京理科大）

休憩（10:45-11:00）

座長：金子敏充（東芝）

- 2-8 DCT とハール変換を組み合わせた周波数変換方式の提案と画像圧縮への応用
○芦澤恵太（舞鶴高専），原田卓弥・山谷 克（名城大）
- 2-9 形状可変な連続関数群を用いた奥行きマップ符号化の検討
○菅谷温人・亀田裕介・松田一朗・伊東 晋（東京理科大）
- 2-10 クラスタ PRNU ノイズに基づく入力スキャナの判別手法
○安江敦紀・富岡洋一・北澤仁志（東京農工大）
- 2-11 周波数分離型ターゲット適応コントラスト改善技術の開発
○栗原康平・豊田善隆・的場成浩（三菱電機）
- 2-12 らせんの樹状接続による唐草模様線画の生成
沖野弘基・○井上光平・浦浜喜一（九大）
- 2-13 RGB 色立方体の頂点色の確率分布に基づく母点配置によるボロノイモザイク
ハーフトーニング
○井上光平・原 健二・浦浜喜一（九大）
- * 2-14 ノイズ解析とウェーブレット変換を用いた異種画像識別法の検討
○森永淳史・原 健二・井上光平・浦浜喜一（九大）

第3部門 放送方式・放送現業

12月17日(水) 13:00-14:30 地下1階 第1会場(第1フォーラム)

○は登壇者 *印はフレッシュパーソン

1件15分(発表10分, 質疑応答4分, PC切替および座長による紹介1分)

座長: 柳澤 斉 (NHK), 岩本正伸 (TBS テレビ)

- 3-1 大規模データ分散処理基盤を用いた映像トランスコード処理の検討
○黒住正顕・小田周平・遠藤洋介 (NHK)
- 3-2 大規模災害における防災・減災のための SNS 解析手法の提案
○有安香子・藤沢 寛 (NHK)
- * 3-3 字幕情報を利用した放送と通信の簡易同期法
○早見拓朗・藤田欣裕 (愛媛大)
- * 3-4 TVML を用いた天気予報自動番組制作
○襟立大貴・藤田欣裕 (愛媛大)
- 3-5 ラジオ第2の番組「株式市況」と「気象通報」のための音声合成を利用した自動放送システム
○世木寛之・妹尾真澄・小滝邦宏・栗原 清 (NHK),
細谷宏生・飯島慎一・倉田 淳・渋谷朋寛 (NHK メディアテクノロジー)
- 3-6 カメラの動きを計測するハイブリッドセンサーのクレーンカメラへの応用
○武藤一利・加藤大一郎 (NHK-ES), 三ッ峰秀樹 (NHK),
岡本浩幸・Alessandro MORO (ライテックス)

第4部門 映像表現 (CG, AR, 計測技術)

12月17日(水) 13:00-16:45 1階 第2会場 (第2フォーラム)

○は登壇者 *印はフレッシュパーソン

1件15分(発表10分, 質疑応答4分, PC切替および座長による紹介1分)

座長: 新谷幹夫 (東邦大)

- * 4-1 3Dプリンタにおける形状分割の一手法
○沼田裕也・西尾孝治・小堀研一 (大阪工大)
- 4-2 形状変形用ケージの自動生成に関する一手法
○金谷孝之 (広島国際大), 村木祐太・西尾孝治・小堀研一 (大阪工大)
- * 4-3 3次元モデルの圧縮品質とプリント品質の関係性評価
○中野雄介・山崎俊彦・相澤清晴 (東大)

休憩 (13:45-13:55)

- * 4-4 2眼立体CGと実写合成における視差量設定に関する検討
○佐藤いずみ・藤田欣裕 (愛媛大)
- * 4-5 階層的な平滑化を用いた点群の位置合わせ手法
○松葉 俊・西尾孝治・小堀研一 (大阪工大)
- * 4-6 ARによる模様を持つ物体の色変換手法
○陰 蘊霄・眞鍋佳嗣・矢田紀子 (千葉大)

休憩 (14:40-14:50)

座長: 高橋時市郎 (東京電機大)

- * 4-7 偏光を用いたインビジブルマーカの提案
○宮内貴之・眞鍋佳嗣・矢田紀子 (千葉大)
- * 4-8 折れ曲がる面で利用可能なARマーカの提案
○笹沼 啓・眞鍋佳嗣・矢田紀子 (千葉大)
- 4-9 ペンライトアート風のインターフェースによる映像への図形描画
○作 晃介・松田一朗・亀田裕介・伊東 晋 (東京理科大)
- * 4-10 プロジェクションマッピングによる内部情報の適切な見せ方の提案と評価
○富澤雅喜・眞鍋佳嗣・矢田紀子 (千葉大)

休憩 (15:50-16:00)

- * 4-11 自由視点画像生成に基づく移動カメラ映像からのシネマグラフ生成
○中島章敬・河合紀彦・佐藤智和・横矢直和 (奈良先端大)
- 4-12 カメラで一部分を捕えたTV画面の位置と姿勢の推定方法
○川喜田裕之 (NHK/東工大), 中川俊夫 (NHK), 佐藤 誠 (東工大)
- 4-13 レーザ距離センサを用いた移動式三次元計測システムの開発
○榎 修一・白根一登・正木良三・高橋一郎 (日立産機システム)

第5部門 立体映像技術

12月17日(水) 13:00-15:45 2階 第3会場 (第1会議室)

○は登壇者 *印はフレッシュパーソン

1件15分(発表10分, 質疑応答4分, PC切替および座長による紹介1分)

座長: 高田英明 (NTT)

- * 5-1 4時分割パララックスバリアを用いた高精細立体表示システムの改良
○岡田 健・掛谷英紀 (筑波大)
- * 5-2 奥行き制御機構を備えた背景付き空中立体像提示
○小出海人・掛谷英紀 (筑波大)
- * 5-3 透過型インテグラルイメージングディスプレイの提案
○山口祐太・高木康博 (東京農工大)
- 5-4 視点追従を行うインテグラル立体二眼シミュレーションシステム
○片山美和・三科智之・岩館祐一 (NHK)
- 5-5 MV-HEVCを用いたインテグラル立体像の符号化画質に関する一検討
○原 一宏・洗井 淳・三科智之・岩館祐一 (NHK)

休憩 (14:15-14:30)

座長: 掛谷英紀 (筑波大)

- 5-6 背景画像の相違による前方物体の奥行き知覚の変化
○高橋 優 (徳島大), 山本裕紹 (宇都宮大), 陶山史朗 (徳島大)
- * 5-7 枠なし多眼表示モジュールにおける奥行きによる視点数制御を用いたぼけの低減
○所 真之・高木康博 (東京農工大)
- * 5-8 立体像の重畳表示を用いた三次元形状計測
○篠原慎平・高木康博 (東京農工大)
- * 5-9 間接反射成分の抑制による高精度三次元形状計測手法の提案
○川口有弘・眞鍋佳嗣・矢田紀子 (千葉大)
- 5-10 角度センサを用いた多視点カメラの校正手法
○加納正規・大久保英彦・池谷健佑・久富健介・三科智之 (NHK)

第6部門 メディア工学（ヒューマンインタフェース・医療応用）

12月18日（木）9:15-12:00 地下1階 第1会場（第1フォーラム）

○は登壇者 *印はフレッシュパーソン

1件15分（発表10分，質疑応答4分，PC切替および座長による紹介1分）

座長：根岸博康（三菱電機）

6-1 顔部品の形状特徴が顔全体の類似印象に与える影響の評価

○パン ジュン フイ・中村友昭・金子正秀（電通大）

*6-2 金属物体の画像特徴と質感の関係の定式化

○小林大介・矢田紀子・眞鍋佳嗣（千葉大）

6-3 立体視による視覚・力覚・聴覚・嗅覚を用いた仮想環境における臨場感の主観評価

○前田慶博・岡田裕斗・石橋 豊・福島慶繁（名工大）

6-4 ネットワーク遅延が力覚による意思伝達の精度に及ぼす影響

○于 航（名工大），黄 平国（東京理科大），石橋 豊・福島慶繁（名工大）

6-5 台詞から想起される感情を表現するロボット動作の作成

○宮崎 斉・中村友昭・金子正秀（電通大）

休憩（10:30-10:45）

座長：高橋正樹（NHK）

6-6 モダリティ統合に基づく肺血流動態の解剖学的分類法

○岩男悠真・韋 鶯鶯・後藤敏行・影井清一郎（横浜国大），
岩澤多恵（神奈川県立循環器呼吸器病センター）

6-7 蛍光顕微鏡画像における複数細胞を対象とした移動粒子解析法

○金丸悠理・後藤敏行（横浜国大），中村治子・五嶋良郎（横浜市大）

6-8 ガボールフィルタにより抽出した特徴量空間を用いた血液細胞解析システムの開発

○友田哲平・杉浦陽介・相川直幸・青木 伸・安盛敦雄（東京理科大）

6-9 テクスチャ情報を活用した河川堤防における植生の種別と比率推定に関する検討

○松井 雄・村上龍希・景山陽一・石沢千佳子・西田 眞（秋田大），
七尾重亮・岩花 賢・五代儀康崇（国土交通省），昆 太一（NTT-AT）

6-10 震災廃棄物量の推定を目的とした RapidEye における土地被覆分類

○白井 光・景山陽一（秋田大），大内 東（東北大），高谷敏彦（仙台環境開発），
西田 眞（秋田大）

第7部門 情報センシング・コンシューマエレクトロニクス・情報ディスプレイ

12月18日(木) 9:20-12:00 1階 第2会場(第2フォーラム)

○は登壇者 *印はフレッシュパーソン

1件15分(発表10分, 質疑応答4分, PC切替および座長による紹介1分)

座長: 大竹 浩 (NHK)

*7-1 CMOSイメージセンサ搭載体内埋込み蛍光方式血糖計測デバイスの長期動作評価

○増田啓太(奈良先端大), 高橋正幸(テルモ),
河村敏和・竹原宏明・野田俊彦・笹川清隆・徳田 崇(奈良先端大),
興津 輝・竹内昌治(東大), 太田 淳(奈良先端大)

7-2 亜鉛フタロシアニンとC₆₀を用いた有機光導電膜の特性評価

○堺 俊克・瀬尾北斗・大竹 浩(NHK), 松崎隆哲・江上典文(近畿大)

7-3 色補正フィルタを用いた広色域単板カラーカメラの色再現性向上

○林田哲哉・山下誉行・島本 洋・正岡顕一郎・西田幸博(NHK)

7-4 長焦点深度イメージセンサ向け画像処理技術

○豊田善隆・浅村まさ子・山中 聡・河野裕之・山縣浩作・國枝達也・
美濃部正(三菱電機)

7-5 フルスペック8Kスーパーハイビジョンリファレンスカメラの開発

○北村和也・添野拓司・安江俊夫・山下誉行・島本 洋(NHK)

休憩(10:35-10:45)

座長: 大槻一博(NHK)

7-6 Bluetoothを用いたデジタルテレビへの画像転送表示システムの開発

○糸原達彦・上田健介・三木智子(三菱電機)

7-7 家電制御のためのカメラによる3次元位置取得精度と有効範囲に関する考察

○高橋寛明・志田哲郎・三木智子(三菱電機)

7-8 監視カメラ向け画素値適応型高感度処理技術

○鈴木大祐・豊田善隆・山下孝一・的場成浩(三菱電機)

7-9 In-W-Zn-Oを用いたバックチャネルエッチ型TFTの開発

○辻 博史・中田 充・中嶋宜樹・武井達哉・藤崎好英・山本敏裕(NHK)

*7-10 視線追従データを用いたDLPプロジェクタの色割れ知覚シミュレーション

○多田美奈里・平井経太・堀内隆彦(千葉大)

第8部門 ヒューマンインフォメーション（色彩論および音声評価）

12月18日（木）9:00-11:15 2階 第3会場（第1会議室）

○は登壇者 *印はフレッシュパーソン

1件15分（発表10分，質疑応答4分，PC切替および座長による紹介1分）

座長：川村春美（NTT）

*8-1 口唇動作による発話トレーニングの評価

○竹山絵美・寺尾太志・若松英輝・山田光穂（東海大）

*8-2 口唇動作による認証法の提案

○寺尾太志・竹山絵美・若松英輝・山田光穂（東海大）

8-3 発話動画像における口唇形状自動抽出法の改善に関する検討

○齋藤 歩・高橋 毅・景山陽一（秋田大），石井雅樹（秋田県立大），
西田 眞（秋田大）

8-4 口唇の動き特徴を用いたコマンド入力における発話慣れの影響に関する検討

○高橋 毅・齋藤 歩・景山陽一（秋田大），石井雅樹（秋田県立大），
西田 眞（秋田大）

*8-5 固視微動解析に基づく音声応答および身体応答に対する認知負荷の客観的評価

○中井裕真・加納悠史（近畿大），上田慎一・栗原正幸・岩崎健二（東海理化），
小濱 剛（近畿大）

休憩（10:15-10:30）

8-6 背景差し替えにおける双方向色順応変換の利用

○村上龍希・景山陽一・西田 眞（秋田大）

8-7 自然画像を用いた UHDTV 広色域表色系における等色相特性の主観評価

○岩崎有希子・正岡顕一郎・西田幸博（NHK）

*8-8 2型3色覚者のカテゴリカル色知覚モデルの構築

○大西悠貴・矢田紀子・眞鍋佳嗣（千葉大）

第9部門 【テーマ講演】スポーツ映像処理

12月18日(木) 13:00-14:00 地下1階 第1会場(第1フォーラム)

○は登壇者

1件15分(発表10分, 質疑応答4分, PC切替および座長による紹介1分)

座長: 渡辺 裕(早大)

- 9-1 複数フレームで視点切り替え可能なぐるっとビジョン
○池谷健佑・久富健介・片山美和・三科智之・岩館祐一(NHK)
- 9-2 ダンス上達のためのダウン動作リズム抽出
○早房長敏・高橋裕樹(電通大)
- 9-3 異なるシャッター速度で撮影した映像を用いたバドミントンシャトルの
3次元位置推定法
○宍戸英彦・北原 格・亀田能成・大田友一(筑波大)
- 9-4 集団の人による形成に関する研究 ～形的设计とその映像による評価～
○角田 貢・三宅良輔(日体大)

第 10 部門 メディア工学 (AR・画像認識)

12月18日(木) 14:15-17:15 地下1階 第1会場(第1フォーラム)

○は登壇者 *印はフレッシュパーソン

1件15分(発表10分, 質疑応答4分, PC切替および座長による紹介1分)

座長: 島村 潤 (NTT)

- 10-1 固視微動型カメラ運動に基づく微分型奥行復元アルゴリズムの実装と評価
○塚田翔太・何 宜欣・大久保寛・田川憲男 (首都大)
- 10-2 RGB-D カメラを用いた非剛体物体の動き復元のための3次元テンプレート形状生成
○武原 光・中島悠太・佐藤智和・河合紀彦・横矢直和 (奈良先端大)
- 10-3 三次元形状を利用した自由視点画像生成に基づく画像の高解像度化
○林 佑亮・河合紀彦・佐藤智和・横矢直和 (奈良先端大)
- *10-4 スマート LED 照明を用いた照明光推定アルゴリズムの検討
○川合勇輔・矢田紀子・眞鍋佳嗣 (千葉大)
- 10-5 モバイル AR のための三次元物体のリアルタイム姿勢追跡
○小林達也・加藤晴久・柳原広昌 (KDDI 研)
- *10-6 衣桁にかけた小袖画像を用いたバーチャル着装の試み
○横田知美 (千葉大), 鈴木卓治 (歴史民俗博物館/千葉大),
矢田紀子・眞鍋佳嗣 (千葉大)

休憩 (15:45-16:00)

座長: 谷口行信 (NTT)

- 10-7 特定物体認識のための見えの変化を考慮した代表ベクトルの複数割り当て手法
○松崎康平・内田祐介・酒澤茂之 (KDDI 研)
- *10-8 多クラス物体認識のための学習を用いた確信度処理
○大島辰之輔・山崎俊彦・相澤清晴 (東大)
- 10-9 Measurement of Complicated Quantity of Background and Detection of Unusual Situation in Monitoring Area for Surveillance Camera System
○Miwa TAKAI (Tokyo Institute of Technology)
- *10-10 Web カメラを用いた表情変化と心理変化の時系列回帰分析
○井戸田彰義・本田秀明・山本昇志 (東京都立産業技術高専)
- 10-11 軌跡のクラスタリングに基づく非定常行動判別手法
○高木優二・富岡洋一・北澤仁志 (東京農工大)

第 11 部門 ヒューマンインフォメーション (視覚特性および映像・画像評価)

12月18日(木) 12:30-18:00 2階 第3会場 (第1会議室)

○は登壇者 *印はフレッシュパーソン
1件15分(発表10分, 質疑応答4分, PC切替および座長による紹介1分)

座長: 越智大介 (NTT)

- *11-1 文書解析に基づくプレゼンテーション動画の分類と印象判定
○福島悠介・山崎俊彦・相澤清晴 (東大)
- 11-2 SfMを用いた写真による成りすましの検出検討
○渡邊瑞己 (東京電機大), ステファニック ヤン (フランス・ロレーヌ大), 岩田英三郎・釜中博樹 (ユニバーサルロボット), 長谷川誠 (東京電機大)
- 11-3 リアルタイム放送映像情報データベースの構築の研究
○藤木文彦 (東京工芸大), 深井信吾 (藤木新鋭科学研究所)
- *11-4 高齢者の日常生活に必要な認知機能の評価の一検討
○加藤良幸・小椋有記・山崎初夫・山田宗男・中野倫明 (名城大)
- *11-5 遠隔注視点検出装置における近赤外線光源の発光量自動調整による注視点検出のロバスト性向上
○曾根祐輔・福元清剛・海老澤嘉伸 (静岡大)
- *11-6 遠隔注視点検出装置の眼鏡反射対応のための新光源と差分位置補正法の提案
○望月幸平・齋藤翔太・福元清剛・海老澤嘉伸 (静岡大)
- *11-7 視線同時計測による1カメラ頭部方向検出の誤差補正
○西岡隼人・田中寛知・福元清剛・海老澤嘉伸 (静岡大)

休憩 (14:15-14:30)

座長: 高田英明 (NTT)

- 11-8 電子書籍と紙書籍読書時の眼球運動の解析
○石川諒一・高比良英朗・山田光穂 (東海大)
- *11-9 電子書籍読書時の視線と手の運動解析
○田中優衣・菊池 慧・高比良英朗・山田光穂 (東海大)
- *11-10 広視野に提示した視標に対する頭部および眼球運動と手の動きの協調特性
○遠藤 克・伊城龍之介・菊池 慧・高比良英朗・山田光穂 (東海大)
- *11-11 視距離を変化させて指さしさせた時の眼球運動と頭部運動の解析
○伊城龍之介・遠藤 克・菊池 慧・高比良英朗・山田光穂 (東海大)
- *11-12 4K解像度映像視聴時の注視点分布の解析
○三浦彩音・山崎夢子・高比良英朗・山田光穂 (東海大)
- *11-13 解像度を変化させた画像を注視した際の輻輳眼球運動と調節変化の測定
○山崎夢子・三浦彩音・高比良英朗・山田光穂 (東海大)

休憩 (16:00-16:15)

- *11-14 視覚的順応特性を考慮した動画像に対する顕著性推定モデル
○小玉光将・小濱 剛 (近畿大)
- 11-15 奥行き移動する2D/3D映像視聴時の輻輳眼球運動と調節応答の解析
○望月信哉・横山優樹・高比良英朗・山田光穂 (東海大)
- *11-16 両眼融合立体画像の解像度低下に伴う調節応答特性
○今井拓道・矢野澄男 (島根大)
- *11-17 3D映像観察時の輻輳眼球運動と調節応答の関係
○北出桃子・白鳥雄太・高比良英朗・山田光穂 (東海大)
- *11-18 両眼眼球運動測定による奥行き距離検出
○鈴木 真・矢野澄男 (島根大)
- 11-19 喜び表情を対象とした時間軸に対する適応学習と忘却機能の解析
○石井雅樹 (秋田県立大), 山屋孝史・景山陽一・高橋 毅・西田 眞 (秋田大)
- *11-20 AAMによる表情成分抽出法に基づく顔方向に依存しない表情認識
○杉山雅英・山田博文 (岐阜高専)